

平成30年度 名寄市議会 議会報告会実施報告

名寄市議会の活動状況を市民の皆さんにお伝えし、市民や市が抱える課題について意見を交換するため、今年も5月18日、市内3会場で議会報告会を実施しました。議会基本条例に基づく議会報告会実施要綱では、「第2回定例会終了後、概ね2か月以内に、議員を4班に分けて行う」としておりますが、議会改革議論の中で「より多くの市民の皆さんと意見を交換すべき」という方向性が確認されたことにより、昨年に引き続き年2回の実施とし、今回は3班体制で取り組むこととしました。

3会場で実施した報告会には、36人の市民の方々に参加をいただき、議会運営や議員定数・報酬に対するご意見、市政に対する要望などを中心に多くのご発言をいただきました。

お寄せいただいたご意見やご要望などに対しましては、議員間で情報を共有するため、6月4日に全議員参加による意見交換を行い内容の全体化を図ってきたほか、市政に対する要望の取り扱いについては、市長に対し申入れをするものと、各常任委員会での検討課題とするものとの整理を行い、今回は市長への申入れは行わず、課題を所管する常任委員会において今後の調査研究課題とすることとしてきています。

今議会の残り任期も約半年となり、これまでの活動の成果をまとめ上げる時期にきています。これからも議会全体が一体感を持ち「市民から信頼される議会づくり」に邁進するとともに、市民の皆さんの期待に応えるべく積極的な活動を行ってまいります。

今後も市議会の動向にご注視いただきますようお願い申し上げますとともに、10月に開催予定の報告会にも是非ご参加いただき、ご意見等をお寄せいただければ幸いです。



【実施概要】

今回の報告会は、3班体制とし、市内3会場で開催いたしました。

開催にあたり、議員自らが資料を作成するとともに、より多くの市民の皆さんにご参加いただくため、『議会だより かわら版』を作成し、公共施設に掲示するとともに、市内報道機関への記事掲載依頼、議会だより、市議会ホームページによる日程周知、さらには全議員が1人20枚の案内チラシを市民の皆さんに配布し参加を呼びかけました。また開催にあたり町内会長はじめ町内会の役員の方々にも周知にご協力いただきました。改めてご協力いただいたことにお礼申し上げます。

実施に際する会場設営、受付、記録、司会進行なども、例年どおり議員それぞれが行いました。

議会側からは、特別委員会を設置し2年半にわたり議論してきた議会改革の協議結果について、議員定数ならびに議員報酬の決定に至った経緯や考え方を報告するとともに、議会改革調査特別委員会における全般的な協議概要を報告しました。また、前回の報告会以降に開催された定例会の審議状況、各常任委員会の行政視察、政務活動費について説明しました。

意見交換は、特定のテーマを設けずに行いましたが、市民生活に関する意見・要望のほか、議員定数や報酬、行政視察に対する意見、定例会における一般質問のあり方など、議会運営に対する意見も多くいただき、改めて議会改革の必要性を認識したところです。

なお、出されたご意見やご要望については、議会だよりや市議会ホームページなどで市民の皆さんにお知らせします。



【意見交換の主な内容】

各会場における意見交換の主な内容は次のとおりです。

1 班 ふうれん地域交流センター 参加7人

担当議員 班長 黒井 徹（議長）
熊谷 吉正（市民福祉常任委員会委員長）
川口 京二（経済建設常任委員会副委員長）
佐々木 寿（市民福祉、経済建設常任委員会）
山崎真由美（総務文教常任委員会）
野田三樹也（総務文教常任委員会）

◆空き家対策について

問 人身に影響が出るような危険廃屋が地域に存在している。高齢などにより当事者の対応が期待できない場合なども想定されることから、危険な構造物や建物の除去に対する補助的なものを検討してほしい。

答 空き家は所有者の管理が基本となるが、緊急性が高い場合などは市や警察、消防関係も含めた対応も必要となる。危険な廃屋などへの対応について常任委員会の中でも現状把握を行うとともに、必要に応じ行政の対応も求めている。

◆市の業務委託について

問 市が発注する業務委託に関し、入札情報等は情報開示されているが、入札に寄らない契約に関しては情報が見えない。随意契約等に関しても市民の目が届くような情報開示を望む。

答 入札等は公明正大に実施するのがルールである。内容は意見として受け止める。

◆副市長の体制変更と風連地区の今後について

問 風連地区担当の副市長がいなくなることに不安がある。副市長が1名体制となることに対し議会ではどのような議論がされたのか。今後も風連地区の意見が反映されるよう配慮してほしい。

答 議会では特に議論はなく、合併後の課題が一定程度整理できたものと受け止め市の提案を受け入れている。市からは体制変更後も風連地区の課題を協議できるような工夫するとの報告を受けており今後の対応に期待しているが、市民生活に不都合がないよう行政運営をしっかりと監視していかなければならないと認識している。

問 以前、風連地区には市議会議員が3人いたが現在は2人。市議会議員選挙の時期も農村部にとっては厳しく、さらに議員が減ることも想定される中、副市長が1人体制となり今後が不安である。

答 合併以降、名寄と風連が同じように夢を描いて発展することを目指してやってきた。市議会議員選挙の時期を変えるのは難しいが、次期の選挙に向けては、地域

のために頑張ってくれる方が立候補されることに期待している。

◆議員報酬について

問 議員報酬について、他の自治体では報酬が少ないため担い手がないという話がある。議員をやっていて生活が苦しいようでは今後の担い手にも影響が出るので、報酬はある程度の水準を維持するべきと感じる。

問 平成 12 年から報酬の改訂は行っていない。さまざまな意見があるが議員活動を行ううえでは視察や勉強などの経費も必要となる。現状は報酬を据え置いているが、社会情勢も日々変化している中、そろそろ見直す時期なのかもしれない。市には特別職報酬等審議会という組織もあるので、そこで協議検討していただくことも必要。意見として議員間で共有していきたい。

◆各委員会の視察について

問 各委員会における視察により他自治体などの現状や実態を確認してきていると思うが、その内容をどのように行政施策にフィードバックしているのかお聞きしたい。

答 視察で確認してきた内容については、具体的に市内の関係機関や団体、大学などと意見交換や協議を行い今後に向けた議論や検討につなげている。常任委員会では年間のテーマを持って取り組んできており、今後何らかの形で結果を出していきたい。

◆河川環境の整備について

問 風連別川の環境整備について、市から北海道へ要望していただいているがなかなか状況が改善しない。議会だよりで第 1 回定例会で中小河川の河道掘削予算の確保を求める意見書の記事があったが、風連別川も含めたものと受け止めており、ありがたく感じている。今後も継続して要望していくので、議会側でも受け止めていただきたい。

答 全体的な河川の整備について国や道に意見書を出している。この報告会でいただいた意見についても議会として内容を検討し市長の見解を求めていくとともに、我々自身も前向きに受け止め災害や減災等についてしっかり対応したい。また、議会としての災害時の行動について要綱を定める準備をしており我々も努力していきたいと考えている。

◆ヒグマ対策について

問 昨年 8 月、風連駅周辺にヒグマが出没した。JR の敷地ということもあるが、防除対策としての草刈りを行政にお願いしたい。また、風連別川の雑草についても、熊が隠れやすくなっているため除去してほしい。

答 要望として受け止める。

2班 名寄市民文化センター 参加23人

担当議員 班長 佐藤 靖（副議長、総務文教常任委員会）
東 千春（総務文教常任委員会委員長）
大石 健二（市民福祉常任委員会副委員長）
川村 幸栄（経済建設常任委員会）
塩田 昌彦（市民福祉常任委員会）
佐久間 誠（経済建設常任委員会）

◆市庁舎の統合について

問 町内会長の任務で名寄庁舎、風連庁舎を行き来しているが、一度で要件が済むよう市庁舎の一本化を望む。耐震化の問題も含め市民が便利に利用できる庁舎となるようお願いしたい。

答 今後策定予定の立地適正化計画の検討過程において、庁舎に関する議論の可能性はある。方向性は市長の判断に委ねることになるが財政の問題も含め推移を見守っていきたい。

◆道路整備について

問 名寄地区は防塵舗装が多く凍上で路盤がひどい状況。具体的な改善を望む。

答 道路整備は国の補助金を財源とし実施しているが、その補助金が減少している。市民生活に大きく関わる課題であり、市の単独事業でも整備をすべきか市長の決断も出されると思う。議会としても経済建設常任委員会を中心に議論している課題でありご意見として議員間でも共有する。

◆自衛隊パレードについて

問 自衛隊 65 周年パレードに関し町内会長宛てに道路使用承諾書のような文書と戦場をイメージさせるようなチラシが配布された。憲法 9 条から見ても戦場をイメージさせる配布物には問題がある。チラシの内容について議会でも問題にすべきと考えるが議会としての見解は。

答 パレードは自衛隊の活動を市民に理解いただくことが目的と認識している。承諾書やチラシについて内容を承知できていないので持ち帰って内容を確認する。

◆議員定数について

問 常に定数削減の議論が出てくるが、議会の規模を保ち活発に議会活動を行うためにも、定数削減議論が出てこないような活動をすべきではないか。

答 定数に関しては議会改革調査特別委員会を中心に真剣に議論してきた。人口減や財政の厳しさが背景となり毎回削減を検討しているが、削減の議論に区切りをつける時期に来ているのかもしれない。議会改革として、一般質問の通告と質問の方法を変えていくことを検討している。議会の質を高め議員定数を守る力にしたいと考えているのでもう少し見守っていただきたい。

問 議員定数は他市との比較やアンケート結果で判断するのではなく、名寄市議会としての主体性を持ち、方針を明確にしながら必要な議員数を示すべき。

答 名寄市議会では議会基本条例のなかで定数と報酬に関する考え方を定めている。今回の定数と報酬の議論の中では条例に基づき自分たちで主体的に考え方を示していくことを基本としてきた。人口は減少しているが議会が400億の予算を審査し責任を持つためには3常任委員会を6名体制で維持し18議席が必要との判断をしてきている。

◆行政視察について

問 毎年の固定的なものとして視察を実施しているように見える。視察を行った結果が市政にどう反映されているのかわかりやすく市民に知らせてほしい。

答 各委員会で定めたテーマに沿って視察を行っている。視察を含めた検討結果を政策提言につなげたいと考えているが、議論の途上でありもう少し時間をいただきたい。

問 視察の報告については写真を使うなど視覚に訴える工夫をしてはどうか。

答 今後の常任委員会視察報告については写真を活用しわかりやすく示すこととしている。政務活動における視察も同様に工夫したい。

問 視察結果がどのように名寄市政に反映されているのかわからない。視察後に市内の関係者や大学などと意見交換などを行っているのか。視察結果をどのように反映してきたかを具体的に報告すべき。

答 視察については各常任委員会で大学や市の担当部署、市内の関係機関や団体とそれぞれ意見交換や協議を行い議論を深めている。一般質問においても視察の結果を生かし行政に意見反映している。今後も視察から得たことを市の施策に反映させていく。

◆議会の質問内容について

問 町内会などから市へ要望すべき課題が議会で質問されていた。議会ではもっと質の高い議論をすべきと感じる。

答 ご意見として議員間で共有する。

◆河川環境の整備について

問 河川環境の整備を望む。北海道河川であっても名寄市の課題として対応すべき。

答 まちづくり懇談会などでも毎年町内会から要望が出されており、市を通じた北海道への要請により、十分ではないが対応につながっている。意見として承り市政に反映していきたい。

◆道路名称について

問 エンレイホールに面している「錦通り」を「エンレイ通り」に改名することを市に要望してきた。都市計画に関わる内容で都市計画審議会の議論も必要になると

聞いているがどのようにアプローチすべきか指導願う。

答 都市計画審議会の中で意見として反映したい。

◆議会の活性化について

問 議員個々の専門分野があるのであればそれにこだわった質問を期待したい。答弁を予算のあるなしに終始させることなく、掘り下げた回答を引き出すことで市民も興味を待つはず。議会には市民も期待している。個性を発揮してほしい。

答 互いに答弁書を読み合うような質疑答弁ではなく真剣な議論となるよう工夫していきたい。今後の議会に注目して欲しい。

3班 名寄市総合福祉センター 参加6人

担当議員 班長 山田 典幸（議会運営委員会委員長、総務文教常任委員会）
奥村 英俊（議会運営委員会副委員長、経済建設常任委員会委員長）
高野美枝子（総務文教常任委員会副委員長）
高橋 伸典（市民福祉常任委員会）
東川 孝義（経済建設常任委員会）
浜田 康子（市民福祉常任委員会）

◆一般質問について

問 今の質問通告の記載内容では質問内容が伝わらない。また、質問のやり取りがかみ合わず理解できなくなる場面がある。もう少し内容を詰めて質問をすべきだし、市の担当に聞けばわかることを議場で質問していることも改めるべき。

答 現在、議会内部で通告の方法を含めた一般質問のあり方を検討している。議員の資質を高めることも含めて協議を行っているので、もう少し時間をいただきたい。

◆議員定数と選挙について

問 定数の問題よりも選挙のあるなしが課題ではないか。定数を減らし、その分報酬を増額するのも一つの手法。定数が減り選挙が行われれば議員個々の訴えが市民に届くのではないか。

答 市民が議員を選ぶ権利を尊重するためにも選挙が実施されるべきとの認識を持っている。議員定数の削減が選挙に直結するかはわからないが、具体的にどうすれば選挙になるのか考えていかなければならないし、後継者を含めた盛り上がりを作っていくためにも報酬のことも含め議論していきたいと思う。

◆議会改革調査特別委員会の議論結果について

問 議会改革調査特別委員会の構成は。

答 市議会議員8名。

問 議員定数や議員報酬を議員だけで検討することには無理があるのでは。第三者からの示唆や意見をもらうことも必要ではないか。

答 具体的な議論にあたっては、議員が直接伺っているご意見や議会報告会での意見交換内容、市民アンケートの声も参考とし結論を出してきている。

問 定数や報酬に関しては第三者も含めた議論をすることで開かれた議会となり応援する方も増えるのではないか。また、選挙が行われることが望ましいと思う。選挙がなければ議員の資質や活動の魅力が伝わらないし、議員の資質も高まらない。そういう意味でも議員をやってみようというモチベーションを高めて担い手を確保して行くためには議員報酬を増額するなど、一定の補償が必要ではないか。

答 市には特別職報酬等審議会という機関があり市の特別職や議員の報酬が適正かどうか判断しているのでご理解願いたい。選挙に関するご意見も含め議員報酬のありかたなどについて今後も引き続き検討していく。

◆議会報告会について

問 議会報告会の参加者が少ない。市民の関心を高めるためにはPR方法の検討が必要と感じる。地域でも努力するが、タイトルに「意見交換」を付け加えるなど工夫できないか。

答 開催時期やネーミングなど、改善を加えながら多くの方が参加できるよう検討したい。10月は町内会単位での開催予定であり、告知方法も含め工夫していく。

◆みんなでつなぐ手話条例について

問 手話条例の制定以降どのように活動がされているか。市民も含めた全体的な広がりにつながっていないのではないか。

答 市の取り組みとして手話通訳者の養成などを行っているが、議会での具体的な動きはなく、市民への広がりが少ないことは反省点である。日常的な議会活動の中で改めて考えていきたい。

◆議長の任期について

問 議会改革調査特別委員会において議長任期の2年制を議論しているとの報道を見た。議長には一定の権限があり威厳が保たれるべきであり、なぜそのような議論がされるのか疑問である。2年程度では対外的な関係を築くことも難しく力を発揮できないと思う。

答 優先すべき課題ではないと判断し踏み込んだ具体的議論は行っていない。ご意見として受け止め議員間で共有したい。

平成30年度 議会報告会 アンケート結果

議会報告会でご回答いただいたアンケートの結果は次のとおりです。また、ご回答いただいた市民の皆様は34人で、回答率は94.4%となっています。※()の数字は回答者数です。

問1：あなたの年齢は？

- ①20代(0人) ②30代(0人) ③40代(3人) ④50代(1人)
⑤60代(8人) ⑥70代以上(22人) 未回答(0人)

問2：あなたの性別は？

男(32人) 女(2人)

問3：これまでに議会報告会に何回出席したことがありますか？

- ①1回(4人) ②2回(2人) ③3回(7人) ④4回(5人)
⑤5回以上(12人) 初めて(1人) 未回答(3人)

問4：議会報告会の内容についてはどうでしたか？

●全体的に

- ①よかった(14人) ②ふつう(11人) ③よくなかった(0人) 未回答(9人)

●報告内容は

- ①わかりやすい(9人) ②ふつう(16人) ③わかりづらい(0人) 未回答(9人)

●意見交換の内容は

- ①よかった(14人) ②ふつう(7人) ③よくなかった(1人) 未回答(12人)

※今後改善すべきことがあればお書きください。

- ・根拠や報告内容が表面的に感じるので、もう少し具体的に日々の活動内容が分かるようにしてほしい。
- ・意見交換を多くするようにしてほしい。
- ・以前のように議会と市民の交流の場が少ないような状況なので対策を考えていくべき。
- ・開催の時期を考えてほしい。(2人)
- ・開催についてのPRを考えたらいいと思う。
- ・町内会単位での開催の方が意見が出しやすい。
- ・参加者が少ないのは「名寄市議会議会報告会」のタイトルに問題があるのでは。意見交換会と分かるといい。
- ・参加者が多くなるように企画してほしい。

問5：議会だよりはお読みになりますか？

- ①毎回読んでいる(29人) ②たまに読んでいる(5人) ③読まない(0人)

問6：議会ホームページはご覧になりますか？

- ①よく見る(3人) ②たまに見る(13人) ③まったく見ない(15人) 未回答(3人)

問7：議会中継（同時中継、録画中継を含め）をご覧になったことがありますか？

① よく見る（2人） ②たまに見る（12人） ③まったく見ない（17人） 未回答（3人）

問8：議会を傍聴したことがありますか？

① ある（14人）（平均3回程度） ②ない（19人） 未回答（1人）

問9：議会に対してご意見等があれば、自由にお書きください。

- ・耳が悪くてはっきり聞こえず残念に思う。
- ・参加者不足について残念に思う。（3人）